

ぴっぷ議会だより



7月2日 くるみ保育園うんどうかい

この日のためにたくさん練習を重ねてきた園児たち。笑顔の中にも真剣な表情や時には涙を見せながら競技に取り組む姿に、保護者から多くの拍手が送られました。

- 2 審議結果「第2回定例会」ほか
一般質問
- 4 遠藤ハル子議員 带状疱疹予防接種を勧奨するために
高齢者の生きがいづくりになる事業団に知恵と力を出すべきでは
- 5 今井 明信 議員 教育の観点から考える認定こども園について
- 6 植西 浩一 議員 介護従事者を町で育成することについて
ふるさと納税を活用した産業活性化について
- 7 谷口 雅浩 議員 交流人口の増加対策について
- 11 全国議長・副議長研修会報告 / 議会傍聴規則を改正～傍聴時に飲水が可能に

6月16日 第2回定例会



国保税条例の改正など議案11件を審議

6月16日に開かれた令和4年第2回定例会では町の課題等に対し、4議員が一般質問をしました。議案11件は審議の結果、すべて原案のとおり可決しました。なお、一般質問は4〜7ページに掲載しています。

報告

◆令和3年度比布町緑越明許費繰越計算書

地方自治法に基づき、次の事業を令和4年度に繰り越して執行することが報告されました。

◇一般会計（住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業、総合行政情報システム整備事業、町立学校運営事業、小中学校管理事業、体育館・改善センター管理事業）
◇公共下水道事業特別会計（下水道施設整備事業）

規約の変更

◆北海道市町村総合事務組合規約の変更について

◆北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について

◆北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について

各組合に上川中部福祉事務組合が加入するため規約を変更するものです。
【原案可決】

財産の取得

◆財産の取得
町立診療所の一般X線撮影装置（レントゲン）を更新するものです。
（賛成6・反対1）
【原案可決】

条例

◆比布町税条例等の一部を改正する条例
地方税法等の改正に伴う条例改正です。
【原案可決】

◆過疎地域の持続的発展の支援に關する特別措置法の適用に伴う固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例
法律の改正に伴う条例のずれを改正するものです。
【原案可決】

◆比布町国民健康保険税条例の一部を改正する条例
国民健康保険法等の改正及び令和4年度税率改正、新型コロナウイルス

イルス感染症の影響による減免の特例の改正に伴う条例改正です。

【原案可決】

◆比布町介護保険条例の一部を改正する条例

介護保険法などの改正に伴う条例改正で、新型コロナウイルス感染症の影響により収入が著しく減少した第1号被保険者等に係る保険料の減免対象期間をさらに1年間延長するものです。 【原案可決】

補正予算

◆一般会計（第2号）

◆国保特別会計（第1号）

◆介護保険特別会計（第1号）

補正額と総額、主な内容は左の表のとおりです。 【原案可決】

発議

◆比布町議会傍聴規則の一部を改正する議会規則

これまで議会傍聴者は議場内で飲食をすることができませんでしたが、体調管理等の観点から水分

令和4年度各会計補正予算（第2回定例会）

一般会計（第2号）

6,981万7千円の増（総額39億2,313万1千円）
■新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業の増、交流促進施設運営事業委託料の増ほか

国民健康保険特別会計（第1号）

764万2千円の増（総額5億5,565万6千円）
■税率改正に伴う保険料の減、前年度決算額確定による繰越金の増ほか

介護保険特別会計（第1号）

4万5千円の増（総額5億7,870万2千円）
■介護予防事業に係る国庫補助金の増ほか

令和4年度各会計補正予算（第4回臨時会）

一般会計（第3号）【7月8日専決】

50万円の増（総額39億2,363万1千円）
■子育て世帯生活支援特別給付金支給事業の増

一般会計（第4号）

1,868万4千円の増（総額39億4,231万5千円）
■空き地等適正管理事業、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業の増ほか

補給に限った飲水を認めるよう規則を改正するものです。 【原案可決】

意見書を提出

第2回定例会において、次の意見書を採択し、関係機関に提出しました。

◆森林・林業・木材産業によるグリーン成長に向けた施策の充実・強化を求める意見書

【提出先】、衆参両院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、環境大臣、復興大臣

第4回臨時会

7月15日

◆専決した事件の承認について
一般会計補正予算（第3号）

【承認】

◆一般会計補正予算（第4号）
補正額と総額、主な内容は上の表のとおりです。 【原案可決】

定例会の感想

議会を傍聴された方に、一般質問や審議などの感想やご意見をお聞かせいただきたくアンケートを実施しています。

お寄せいただいた感想の一部を紹介します。

□一般質問で、带状疱疹予防接種の勧奨方法、高齢者事業団への支援体制整備の方法、認定こども園はいつから運営されるのか、出生率向上策の具体的な案を聞きたかった。特に出生率向上の案はみんな考えなければならぬと思う。また、介護職の離職抑制は育成・研修だけでは不十分。

□一般質問は上限4人とか決まっているのでしょうか？

□本日の一般質問は、町内に直結する事業団・ふるさと納税・こども園等の議題で聞きごたえがありました。なお一層、市街地の活性化の質問をしてほしいです。

ご協力ありがとうございます。



高齢者事業団 存続に向けての協議と支援を

村中町長

除雪サービス事業は 町が責任を持って継続する



遠藤 ハル子 議員

帯 状疱疹予防接種を勧奨するた め

□質問・遠藤議員

带状疱疹は、神経節にひそむ水痘・带状疱疹ウイルスで、子ども頃にかかり、加齢や疲労・ストレスなどで免疫力が低下するとウイルスの活動が再開し、帯状に痛みや発疹が現れます。带状疱疹は治療が遅れたり、治療しなかった場合、障がいや後遺症として残ることがあり、早期発見と治療が必要です。

長年带状疱疹の治療にあたってきた医師も予防接種を勧めていますが、予防接種勧奨の考えを町長に伺います。

■答弁・村中町長

国では、50歳以上を対象に、水痘ワクチン（生ワクチン）を平成28年3月から、带状疱疹予防ワクチン（不活化ワクチン）を令和2年1月から任意予防接種に位置付け、現在、定期予防接種化に向けて検討も行われています。定期予防接種となった場合には、積極的な勧奨に努めていきます。

□遠藤議員 既に全国いたるところで任意接種でも接種費用の助成をしています。予防接種項目に入れないながら、町が接種費用の負担をして、スムーズに移行ができるように、さらに勧奨を進める努力を

してほしいと思います。

■村中町長 できるだけ症状をやわらげたり、重症度を少なくするためにワクチン接種も必要かと思えます。住民にも周知をしたいと思います。

高 齢者事業団に知恵と力を出す べきでは

□遠藤議員 高齢者事業団（以下、「事業団」）が設立され30年、利用する町民と高齢になっても働きたい人とをマッチングする大切な事業を担っています。農作業の依頼が増えてきている中、門口除雪や除雪サービスが今後増えていくことを考えると、町・社会福祉協議会（以下、「社協」）・事業団の三者が協議をし、対策を立てていかなないと事業団の存続が危ぶまれるのではないかと思います。三者定期協議を行い、情報共有などをして、事業団に知恵を出すべきではないかと思えます。

「高齢者の生きがい対策として、高齢者がそれぞれの体力や経験、技能に応じた働く場の拡大に向け、高齢者事業団を中心に体制整備を進めていきます」と第8期比布町高齢者福祉計画・介護保険事業計画にありますが、どのような対策を立てているのか、町長に考えを伺います。

■村中町長 除雪サービスは、ひとり暮らしの高齢者や障がいのある方などを対象に町が実施している事業であり、社協に委託し、実際の作業は事業団が行っています。

住宅の除雪作業、特に雪下ろし作業については、作業の遅延報告もあることから、事業団だけでは対応が厳しく、現状の形での除雪サービス事業の継続が難しくなることも想定されます。生活助け合い協議会「ぴっぷの和」からの提言等も参考にしながら、利用要件等の見直しや民業圧迫とならない形での有償ボランティアの活用なども視野に、社協並びに事業団と協議を検討していきます。

□遠藤議員 今年のまとめや来年の課題を話し合うためにも、三者定期協議は年に2回必要ではないかと思えます。丁寧な対応で利用する人の声、除雪サービスを受ける方の声なども聞き、持続的な除雪サービスを切に望みます。

■村中町長 作業ができなくなる時が来るかもしれませんが、町が責任を持って除雪サービス事業を行いますので、その心配はないと思えます。近年では公務員の副業もあり、役場職員が直接行うことも考えています。



教育の観点から考える 認定こども園について

北川教育長

出生時からの15年間の成長に注視し 関わりをより強くしていくことが重要



今井 明信 議員

□質問・今井議員

現在、事業主体の社会福祉法人の運営準備等の理由もあり先送りになっていますが、比布町内でも「認定こども園」の運営が予定されています。

認定こども園はこれまで厚生労働省の管轄であった保育所や文部科学省の管轄である幼稚園とは違い、内閣府が主な管轄となります。つまり「保育」と「教育」の両面を目的としており、保護者の勤労の有無なく0歳から5歳までの子どもを預けることができる施設です。調査によると多くの親は教育活動の充実を求めています。

比布町は今年4月より小中一貫校から区切りのない義務教育学校へと変わりました。認定こども園が開園となれば、園から学校へ教育の連携が必要となります。そこで以下について質問をします。

① 認定こども園には地域の実情やニーズにより選択が可能な「タイプ」がありますが、選択とその考えは。

② こども園から学校へ継承されるべき教育の基礎と、こども園に求める幼児教育について。

③ 現在、町内にはくるみ保育園、うれしば保育園、その他の施設を利用している子どもがいます。近隣町では入学前の施設を一つにし

ており教育の連携がより図られると思います。教育長の考えは。

④ 今後、比布町の出生率について考えや策があるのか。

■答弁・北川教育長

① 認定こども園は、家庭の事情や地域の実情などに応じて選択できるように、「幼保連携型」、「幼稚園型」、「保育所型」、「地方裁量型」の4つのタイプに分けられます。そのタイプによって、職員資格・学級編成、教育・保育内容の認定基準が都道府県の条例に定められており、教育・保育内容について円滑な小学校への教育の接続や、特に配慮すべき事項を考慮することが定められています。

② 職員同士の研修会などを開催し相互の教育について理解を深め教育上の課題を共有する等、義務教育に向けてスムーズに適応できるように環境を整備していくことが重要です。

③ どの幼児施設も保育所保育方針や幼稚園教育要領に基づいた教育・保育が行われ、義務教育に向けての基礎を育んでいますので、学校と各幼児施設、幼児施設同士が連携・接続を深めていくことによつて、教育の連動が図れるものと考えています。

④ 「比布町で教育を受けさせたい、子どもを育てたい」と思っていた

だけのような魅力ある教育を實踐していくことだと考えています。

□今井議員 現在、運営法人は保育園の運営ですが、選択するタイプによって現保育職員が幼稚園教育資格を必要になる場合もあると思います。その場合の教育委員会の対応を伺います。

■北川教育長 現段階では把握していませんが、資格の部分も含め十分配慮しながら今現在の幼稚園教諭、保育士の資格を持った方々が、引き続き勤務できるような努力ができれば良いと思っています。

□今井議員 国は教育委員会に対して、認定こども園との関わり方を重要視しています。15年間という切れ目のない比布町での教育ということを考えると、やはり認定こども園という存在がとても大きいと考えます。今後、町内それぞれ施設ではなく、町認定こども園が連携、継続することが重要ですが、認定こども園だけの連携という考えは教育委員会にはありませんか。

■北川教育長 現時点で町教育委員会として進め方は考えていません。保護者のニーズもあり選択できる幼児施設があることは良いと思っていますが、いくつかの幼児施設があれば、その中の連携は必要だと思えます。



介護保険制度を維持する 人材の育成をどう考えるか

村中町長

事業所への支援に加え、人材確保に 向けた奨学金制度を活用したい



植西 浩一 議員

介護従事者を町で育成すること について

□質問・植西議員

介護保険制度が始まって20年以上経過しました。制度の必要性は高まるものの、制度そのものの安定性には疑問が残ります。そのための人材確保をどのように考えているのか伺います。

■答弁・村中町長

人材育成の具体的な内容としては、人事院人材局が導入を推進しているメンター制度^{※1}の導入などがあります。

本町では、平成30年から近隣市の医療・介護施設従事者を対象に、比布町が主催となり「医療・介護従事者等研修会」を開催しています。また、町内事業所に対しては、事務指導の場なども活用しながら事業所の業務の簡略化やサービスの向上が図られるよう支援をしています。

□植西議員 ホスピタル精神^{※2}というものが、この介護制度を支える最も重要なものではないかと思えます。これをどのように捉えていますか。

■村中町長 一日も長く幸せに生きていただき、家族も安心して、本人も幸せだと感じながら過ごせることが大事かと思っています。

□植西議員 介護施設の利用者は

全ての機能が失われているわけではありません。それゆえ、承認欲求があり、これを満たすようなことも利用者の幸福につながります。しかし、その利用者の幸福感を支えるはずの介護従事者が離職しているのは、本人が満足感を感じていないからだと推測します。メンター制度も含めて各自治体での取り組みについて、またそれらを連携中枢都市圏の中で充実させていくことは可能ですか。

■村中町長 それぞれ市町の中で共通した課題であれば、連携につながると思います。町では人材不足を解消するための外国人奨学金制度の活用や新たな就業支援など人材不足解消の仕組みを検討していきます。

ふるさと納税を活用した産業活性化について

□植西議員 ふるさと納税で集まったお金を使った産業活性化は進んでいますか。

■村中町長 今後も持続的な活性化につながるように各事業所の特産品開発等に協力していきます。

□植西議員 産業の活性化について、シンクタンク^{※3}との協議や連携はありますか。

■村中町長 町内の方が集まってできる範囲で協議を進め、そのア

イデアを大切にしたいと考えています。

□植西議員 ダメ出しをするようなシンクタンクではなく、活性化を積極的に進めていこうとするシンクタンクを取捨選択していく必要があるのではないかと思います。

■村中町長 様々なイベントが再開されることと思いますが、イベントの時だけでなく、持続的に町に訪れていただけるように魅力を発信したいと思います。また、他自治体で「町の株主制度」というものがあり、これを本町で導入できるか研究していきたいと考えています。

※1 メンター制度：役職のない先輩からの業務指導を中心として新人をサポートする制度

※2 ホスピタル精神：医療や福祉関係の現場で使われる「サービスの向上を常に追求する精神や考え方」を表す言葉

※3 シンクタンク：幅広い分野にわたる課題や事象を対象とした調査・研究を行い、解決策を提示したりする研究機関



近隣町を巻き込んだ 交流人口増加と地域活性化策を

村中町長

大雪山や地域の魅力を生かし 圏域経済活性化となる事業を展開したい



谷口 雅浩 議員

□質問・谷口議員

びつぶと言えば、「スキーといちこのまち」として知られているところですが、近年では「世界一大雪山がきれいに見えるまち」としての認知度が向上していると思います。それは、村中町長をはじめ町民がびつぶから見える大雪山の四季折々の風景をSNSを通じて、その魅力を情報発信されている結果ではないでしょうか。

また、町外の方々や近隣自治体の投稿を見ると、大雪山関連の投稿が増えてきています。町では写真コンテストを実施していますが、人の動きという点では弱いと思います。

これを好機ととらえ、人流をつくる手段として近隣自治体に提案、連携し、各町で撮影された写真の合同コンテスト等を企画して、びつぶを含め各地域を訪れる交流人口の増加と活性化につなげてはいかがでしょうか。人が動けば、経済もまわります。町長の考えを伺います。

■答弁・村中町長

谷口議員が述べられたとおり、本町はこれまで長きにわたり「スキーといちこのまち」をキャッチフレーズとしてPRを進めてきており、スキーやいちご狩りなどを

通して、多くの方々にご来町いただいているところです。

平成28年度からは「世界一大雪山がきれいに見えるまち」として各種事業やSNSを有効活用し、本町のさらなる魅力発信に努めてきました。

「写真コンテスト」については、この「世界一大雪山がきれいに見えるまち」を新たなキャッチフレーズとして、本町を広くPRするとともに、関係人口や交流人口を増加させることを目指し、「大雪山フォトグランプリ」を平成29年度より3年間実施しました。

この間、町外より100人以上の方が本町を訪れ、作品を応募いただくとともに、ご本人の発信や募集広告も含めると多くの皆様の本町の魅力を知っていただく機会となりました。また、コロナ禍であつても開催が可能な事業として、昨年より「びつぶ町フォトコンテスト」として事業を再開しています。

近隣町との連携について、今年に入り近隣町でも大雪山に係わるSNSの投稿が増えていることは、私も感じているところです。

そのような中、鷹栖町及び愛別町の公式ツイッターにおいても大雪山の投稿があったことから、本町より「大雪山」を話題とした企

画を提案し、3町合同によるツイッターでのPR事業を実施しました。

この事業では、まずは3町を知っていたいただくことを目的とし、各町おすすめの大雪山の画像を3町同時にツイートするとともに、各町の関連ツイートを相互にリツイートする方法などで連携し、各町の魅力を発信しています。

キャンペーン終了後、抽選で3町の特産品詰め合わせセットを送りする予定です。このキャンペーンをきっかけとして、さらなる魅力の発信及び近隣自治体との連携強化に努めてまいります。

交流人口については、私も地域の活性化につながるものと思っています。今後も大雪山や地域の魅力を生かし、多くの方々の本町をはじめ近隣自治体を訪れ、交流人口の増加につながる「合同フォトコンテスト」などの開催に向けての仕組みを研究し、圏域の経済活性化の一助となる事業を連携して展開していきたいと考えています。



雪が残る大雪山

委員会のactivities

活動

総務常任委員会

6月7日開催

【税務住民課】

《報告事項》

- 令和3年度町税等の調定及び収納状況
- 上川広域滞納整理機構の3年度収納状況・4年度引継状況
- その他
- ◇確定申告相談・受付 256件
- ◇住民登録人口（3月末現在）3,521人



マイナンバーカード申請受付

- ◇令和3年度マイナンバーカード交付枚数 429枚
- ◇クリーン作戦 4月21日～5月8日実施

《協議事項》

- 第2回議会定例会提出議案
- ◇比布町税条例等の一部改正案
- ◇過疎地域の持続的発展の支援に關する特別措置法の適用に伴う固定資産税の課税の特例に關する条例の一部改正案
- ◇令和4年度一般会計補正予算案

【保健福祉課】

《報告事項》

- (1)福祉係
- 令和3年度高齢者等の冬の生活支援事業
- 令和3年度高齢者移動支援（ぴたく）利用状況
- 令和3年度保育施設等入所児童数
- 令和3年度児童手当等支給状況
- 令和3年度障害者自立支援給付
- 保健係・予防係・栄養指導係
- 令和3年度健診等結果状況等
- (3)介護保険係
- 令和3年度介護保険特別会計決算見込
- 介護給付費の推移
- (4)地域包括支援センター
- 令和3年度地域包括支援センター運営実績

(5)国保医療係

- 令和3年度国民健康保険特別会計・後期高齢者医療特別会計決算見込
- 令和4年度国民健康保険税率案

《協議事項》

- 第2回議会定例会提出議案
- ◇財産の取得
- ◇国民健康保険条例の一部改正案
- 課税限度額の見直しと保険税率等の見直し、未就学児の均等割2分の1軽減など
- ◇介護保険条例の一部改正案
- ◇令和4年度一般会計・国民健康保険特別会計・介護保険特別会計補正予算案
- 《その他》
- 新型コロナウイルスワクチン接種状況



まる元体操事業

【生涯学習課】

《報告事項》

- 教育委員会機構図
- 令和3年度教育奨励賞表彰者
- 比布町高校生等就学応援金支給事業実施要綱の制定
- 練成会グループキョウリョク株式会社との地学協働にかかる包括連携協定書の締結
- 児童生徒数と学級編制数及び教職員体制
- 義務教育学校になり、校長が2人から1人になったことで、主幹教諭が新たに配置されました。
- 義務教育学校における情報提供
- ALTの配置
- 令和3年度学校給食費会計の決算状況
- 令和3年度社会教育施設の使用料等
- 令和3年度図書館の利用状況等



比布中央学校 交通安全教室

■白寿大学の運営について

■令和4年度スポーツ少年団、公民館教室等の加入状況

■幼児・児童運動教室

■多目的室内運動場夏場開放（遊具等設置）

◇6月18日オープン

【開館日】10月までの土・日・祝日及び夏休み期間（月曜は休館）

【開館時間】午前10時～午後4時（10月は午後3時まで）

■ウォーキングスタンプラリー「ぶらりピップまち歩き」事業

【実施期間】6月7日～7月7日

■所管施設工事発注状況

◇中央プール上屋シート改修工事

◇比布町農村環境改善センター外壁・体育館屋根塗装工事

《その他》

■スクールバス（マイクロバス）購入



いちごアリーナ内「あそびっぴ」

【総務企画課】

《報告事項》

■第2回議会定例会提出議案

■町債について（3年度決定・4年度申請）

■令和3年度比布町各会計決算見込・基金の状況

■ふるさと納税の状況

■企業版ふるさと納税の状況

■空き地・空き家対策

認定2件、うち1件は冬までに

略式代執行の予定

■ピピカツ（運動と食による脳の活性化）事業

■その他

◇定年延長の条例改正

◇個人情報保護条例の改正

◇マイナポイント第2弾

◇地域おこし協力隊

◇住宅リフォーム支援事業

【対象】令和4年4月1日以降に行行う築30年以上の既存住宅の増改



幼児向け運動教室 ぴっぴきっずくらぶ

築・改修工事等で費用が100万円を超えるもの

【補助費用】住宅1棟につき30万円（町内事業者を利用した場合は50万円）

◇複業人材登用による実証実験アトバイザーの任命

◇宗谷線観光列車「花たびそらや」号の運行

◇友好交流事業

《協議事項》

■第2回議会定例会提出議案

◇一般会計・公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書

◇北海道市町村総合事務組合規約の変更

◇北海道市町村職員退職手当組合規約の変更

◇北海道市町村職員退職手当組合規約の変更

◇北海道市町村職員退職手当組合規約の変更

◇北海道市町村職員退職手当組合規約の変更

◇北海道市町村職員退職手当組合規約の変更

◇北海道市町村職員退職手当組合規約の変更

◇北海道市町村職員退職手当組合規約の変更

◇北海道市町村職員退職手当組合規約の変更

◇令和4年度各会計補正予算案

総務常任委員会

7月15日開催

【総務企画課・税務住民課】

《協議事項》

■第4回議会臨時会提出議案

産業建設常任委員会

6月2日開催

【産業振興課】

▽農林部門

《報告事項》

■農作物の作付状況

(1)各作物の作付計画

◇水稲 128戸 148、367・4^ル1

◇小麦 27戸 22、098・6^ル1

◇かぼちゃ 46戸 4、826・0^ル1

(2)作業受委託状況

◇作業受託組織

4組織 28、447・4^ル1

◇牧草作業組織

8組織 14、500・8^ル1

■経営所得安定対策

令和4年度産地交付金の活用方法案

■水田活用の直接支払交付金の見直しについて

■町単独補助事業の実施予定

◇農業振興費

(1)農業振興事業

堆肥盤設置事業、有害鳥獣対策事業

(2)農地流動化促進対策

売買支援、賃貸支援

(3)青果物等振興事業

そ菜、花卉作付拡大推進事業、いちごの活力創造事業、青果物等振興対策事業

◇畜産業関係

畜産導入奨励事業、死へい牛適正処理事業

■土地改良事業の実施予定

■多面的機能支払交付金事業に係る活動組織の広域化

■ぴっぴいちご誕生100周年記念事業

■クマの目撃情報報告

▽商工・観光部門

《報告事項》

■令和3年度各施設の利用状況等

■各イベント等の実施予定

■令和3年度商工業振興事業補助金

■令和3年度地方創生対応臨時交付金を活用した事業

(1)「ぴっぴの観光」受入体制支援事業

■令和4年度地方創生対応臨時交付金を活用した事業

(1)「支え合おう!ぴっぴの元気づくり商品券」給付事業

(2)商工業振興事業

(3)新ぴっぴスタイルイベント補助事業

(4)ぴっぴいちごキャンペーン情報



ぴっぴいちご誕生100周年記念事業ゆきらら収穫

発信事業

(5)良佳村エリア磨き上げ事業

(6)「ぴっぴの観光」受入体制支援事業

■民間事業者との連携事業

《協議事項》

■第2回議会定例会提出議案

◇令和4年度一般会計補正予算案

■令和4年度ぴっぴスキー場営業方針案

■良佳プラザ遊湯ぴっぴ次期指定管理者の選定について

【建設課】

《報告事項》

■建設工事の発注及び進捗状況

■令和3年度町営住宅使用料の収納状況及び管理状況等

◇3年度分収納率 99・63%

◇滞納繰越分収納率 49・07%

◇町住管理戸数 283戸

■令和3年度上下水道使用料等の収納状況

◇水道料金収納率 99・86%

◇下水道使用料収納率 99・92%

■繰越明許費

◇下水道事業整備事業

【農業委員会】

《報告事項》

■令和4年度農業委員会活動計画

■令和4年度農業委員会の業務概要・農業概況

産業建設常任委員会

7月15日開催

【建設課】

《協議事項》

■第4回議会臨時会提出議案

全員協議会

6月1日開催

【総務企画課ほか】

◇新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金に係る補正予算・事業について

全員協議会

6月16日開催

【保健福祉課】

◇北海道子育て世帯臨時特別給付金支給事業について



ようこそ比布町へ！
行政視察来町

5月13日、胆振管内の壮瞥町議会（長内伸一議長）議員ら9人が「比布中学校の校舍整備に係る取り組みと校舎の現況等」について学ぶため本町を訪れました。

町教育委員会職員から義務教育学校移行の経緯などについて説明を受けた後、比布中央学校において授業の様子や校舎の利用状況などを視察しました。



**5/30 全国町村議会
議長・副議長研修会**

5月30日に東京都で開催された「令和4年度全国町村議会議長・副議長研修会」に、佐藤康則議長、今井明信副議長が参加しました。

■研修テーマ・講師

「町村議会のあるべき姿」

東京大学名誉教授 大森 彌氏

「町村議会議員報酬について」

大正大学社会学部

教授 江藤 俊晃氏

「地方議会とハラスメント」

上智大学法学部地球環境法学科

教授 三浦 まり氏



大森教授



江藤教授



三浦教授

この度、東京都内にて上記内容の研修会に参加させていただきました。5月末日の都内は既に初夏を超える真夏並みの気温となっており、寒暖差に身体が慣れなく苦労しました。

研修会のテーマは3部構成となり、本町議会でも現在検討している内容でもあり、貴重な講演となりました。

特に「地方議会とハラスメント」の内容は議会議員にとどまらない問題であり、例えば新社会人が一度は経験している問題ではないでしょうか。講師の三浦氏の資料によると、地方議員が性別による差別やハラスメントを受けた割合は

女性が多く、心理的な暴力、物理的な暴力が多いようです。また、議員間でのハラスメントもあり、優越的地位の濫用のように議員経験数、年齢により行ってしまったり、議員が職員へ高圧的な態度をとること等もあるようです。

現在、全国的に地方議員のなり手不足が問題となっていますが、このような状況が改善されなければ解決されません。近隣町ではハラスメント防止条例が可決されました。他町の問題もわが町の課題と捉え考えてまいります。

(今井 明信)

議会傍聴規則を改正

議会傍聴の際に水分補給ができるようになりました。

これまで議場内で飲食ができませんでしたが、体調管理のための水分補給が可能となりました。

【お願い】

- 飲み物は各自ご持参ください。
- 水筒やペットボトルなどふた付の容器に入れてお持ちください。

議員及び職員等も飲水しますので、ご了承ください。



しっかりと
ふたのできる容器

缶や紙パックなどは
持ち込みできません

議会のうごき

5月

- 13日 壮瞥町議会議員視察研修来町（学校他、議長）
- 19日 高規格道路旭川・紋別自動車道早期建設促進期成会総会（紋別市、議長）
- 23日 高速道路国道旭川名寄間建設促進期成会定期総会及び宗谷本線活性化推進協議会定期総会（名寄市、議長）
- 24日 上川中央部市・町議会議長定例会議（鷹栖町、議長）
- 27日 上川地方総合開発期成会定期総会及び専門部会（旭川市、議長）
- 30日 全国町村議会議長・副議長研修会（東京都、議長・副議長）

6月

- 1日 全員協議会（役場、全議員）
- 2日 産業建設常任委員会（役場、委員・議長）
- 7日 総務常任委員会（役場、委員・議長）
- 13日 議会運営委員会（役場、委員・議長）
大雪消防組合議会臨時会（美瑛町、組合議員）
- 14日 上川町村議会議長会臨時総会・北海道町村議会議長会定期総会及び研修会（札幌市、議長）

- 16日 第2回議会定例会（役場、全議員）
全員協議会（役場、全議員）
議会改革特別委員会（役場、委員・議長）
議会広報特別委員会（役場、委員）
- 19日 陸上自衛隊第2師団創立72周年・駐屯地開設70周年記念式典（旭川市、議長）
- 21日 上川中部福祉事務組合議会臨時会（当麻町、組合議員）
- 23日 比布町観光協会通常総会（商工会館、議長）

7月

- 2日 比布消防団夏季演習（百年記念公園、各議員）
- 6日 北海道町村議会議員研修会（札幌市、各議員）
- 12日 議会広報特別委員会（役場、委員）
鷹栖町議会「地域を語ろう会」視察（鷹栖町、全議員）
- 15日 総務常任委員会（役場、委員・議長）
産業建設常任委員会（役場、委員・議長）
議会運営委員会（役場、委員・議長）
第4回議会臨時会（役場、全議員）
議会改革特別委員会（役場、委員・議長）
- 21日 青果振興会役員研修会（町内、産建委員・議長）
- 25日 議会広報特別委員会（役場、正副委員長）

編集後記



今夏は久しぶりに人の行動、消費が盛んに感じられるようになりました。世間やメディアでは「3年ぶり」との言葉を多く耳にします。

私も比布町議会では町民との交流や意見・要望を伺い語り合う「意見交換会」の開催をただいま計画しています。新型コロナウイルスにより傍聴しづらかったり、また、敷居が高い、興味がない等と感じている方もいることと

思われます。まずは「まちづくり」に少しでも関心を持っていただけるように話し合う場所・時間が、皆様の意見が伝わるための工夫など考えてみます。年代や性別、多様な職種に就いている多くの町民からの意見を傾聴できればと思いますので、開催の際はぜひともご参

加ください。合わせて「久しぶり」の夏のイベントが多くあり、参加ができて楽しい期間となるよう祈念します。

本年1月より議会広報特別委員の任を受けて久しぶりの編集後記となりました。今後ともよろしくお願いたします。

（今井 明信）



7月12日、鷹栖町議会主催の住民懇談会「地域を語ろう会」を全議員で視察しました。